

第9回 県有施設・県出資団体等調査特別委員会資料

**出資団体等所有施設について  
～個別施設の現状と課題、その対応方針～**

大洗港フェリーターミナルビル（土木部）

令和6年6月19日（水）

○施設名：大洗港フェリーターミナルビル 【所有団体：株式会社茨城ポートオーソリティ】

## 1 現状

### (1) 施設の概要

- 大洗港フェリーターミナルビルは、定期フェリー運航に必要なサービス提供をするため設置した施設である。

所在地	東茨城郡大洗町港中央2
開業年月	平成6年
施設概要	施設敷地 2,680 m <sup>2</sup> 、鉄骨鉄筋コンクリート造3階建
設置理由	大洗港区のフェリーターミナルとして設置
事業内容	フェリーターミナル施設、自社事務所、テナント事業
利用料金	待合所：無料、事務室は個別契約

### (2) 管理手法 ※令和6年4月1日時点

- 株式会社茨城ポートオーソリティが直営で実施し、従業員数は6人（プロパー社員3人、嘱託社員3人）で管理運営を行っている。

### (3) 利用状況

- コロナ禍の2年間（令和2年度及び3年度）は船舶乗降人員数が大きく減少したものの、令和5年度は170,153人と、過去最高を記録した。

#### 【船舶乗降人員数の推移】

(単位：人)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (ピーク)	R5/ピーク
船舶乗降 人員数	155,810	139,380	140,231	142,048	146,490	164,963	97,533	114,136	154,967	170,153	100%

(4) 経営状況

- 大洗港フェリーターミナルビルにおいては、大洗港区と苫小牧港との定期フェリー航路の運航に必要なサービスを提供するため、フェリー会社等へのテナント事業等を実施するほか、自社事務所を設置している。
- 令和5年度は25百万の利益を計上する見込みである。

【収支の推移】

(単位：千円)

年度	収入計				支出計				収支 (A-B)
	(A)	利用料	県支援額	その他	(B)	人件費	維持 管理費	その他	
H26	78,132	78,132	-	-	58,744	3,910	45,244	9,590	19,388
H27	78,911	78,911	-	-	92,969	3,770	51,758	37,441	△14,058
H28	78,902	78,902	-	-	69,638	3,892	45,840	19,906	9,264
H29	79,073	79,073	-	-	71,084	3,662	52,942	14,480	7,989
H30	83,734	83,734	-	-	67,868	4,033	51,033	12,802	15,866
R 1	84,036	84,036	-	-	65,710	3,507	47,612	14,591	18,326
R 2	78,536	78,536	-	-	60,632	4,108	40,518	16,006	17,904
R 3	80,069	80,069	-	-	54,835	3,522	35,707	15,606	25,234
R 4	70,740	70,740	-	-	42,378	3,690	34,001	4,687	28,362
R 5 (見込)	71,196	71,196	-	-	45,806	4,225	33,907	7,674	25,390
平均	78,333	78,333	-	-	62,966	3,832	43,856	15,278	15,367

【大規模修繕の推移】（10,000 千円以上の修繕を記載）

（単位：千円）

年度	修繕実績額		修繕内容
		県支援額	
H26	58,200	-	空調機器更新
H27	60,210	-	外壁改修
H28	-	-	
H29	36,300	-	待合ロビー改修
H30	-	-	
R 1	-	-	
R 2	-	-	
R 3	-	-	
R 4	-	-	
R 5	-	-	
計	154,710	-	

（5）周辺エリア、類似施設等の状況

- 周辺エリアは、「ひたちなか大洗リゾート構想」に基づき、地元市町や関係団体が連携し、観光消費の向上等に取り組んでいる。
- 同エリアにおいて、当施設は唯一のフェリーターミナルであり、類似施設はないため、他所に当ビルの代替機能を求めることは困難な状況である。

2 課題

- 大洗港区は北海道へのフェリーの玄関港であり、観光拠点としての機能強化に取り組む必要がある。
- 施設設置から 30 年経過しており、施設の老朽化や設備の経年劣化への対応が必要である。

### 3 対応方針

※該当するものに「○」を付すこと。

区分	今後の取組方針（案）	該当の有無
①	現状維持（現行の管理手法等での施設運営の合理化等）	○
②	施設のあり方検討（サウンディング調査の実施、外部委員会の開催等）	
③	民間活力導入による運営改善（施設リニューアル等）	
④	他団体への譲渡・譲与（民間、市町村等）	
⑤	廃止・休止・統合	

#### 【方針】

- 現行での施設運営を継続し、効率的な維持管理を行う。

#### 【理由】

- 当施設はこれまで、定期フェリー運航に必要なサービスを提供するため、フェリー運航会社と連携して利用者の利便性向上を図るなど、フェリー運航に欠かせない施設となっていることから、引き続き施設を存続させる必要がある。
- 施設の管理運営に当たっては、周辺地域に代替施設が無く、他の民間事業者での運営は困難である。また、施設等の老朽化対策を適切に実施するなど、株式会社茨城ポートオーソリティが引き続き管理運営を継続していく。

## 出資団体等所有施設に係る運営評価等調査

施設名 (団体名)	大洗港フェリーターミナルビル (株式会社茨城ポートオーソリティ)	所管課	土木部港湾課
--------------	-------------------------------------	-----	--------

## 1 施設概要

所在地	東茨城郡大洗町港中央2	整備年月	平成6年
設置の根拠法令等			
設置目的	大洗港区のフェリーターミナルとして設置		
事業内容	フェリーターミナル施設、自社事務所、テナント事業		
施設内容	施設敷地2,680㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造3階建		

## 2 管理者

(令和6年4月1日現在)

管理区分	直営	管理者名	株式会社茨城ポートオーソリティ		
体制	6人 内訳	常勤職員	3人	嘱託職員	3人

## 3 利用状況

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
船舶乗降人員 数(人)	目標値	-	-	-	-	-	-
	実績	146,490	164,963	97,533	114,136	154,967	170,153

## 4 施設運営に係る事業費

(千円)

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
収入	利用料金	83,734	84,036	78,536	80,069	70,740	71,196
	その他	0	0	0	0	0	0
	合計①	83,734	84,036	78,536	80,069	70,740	71,196
支出	人件費	4,033	3,507	4,108	3,522	3,690	4,225
	維持管理費	51,033	47,612	40,518	35,707	34,001	33,907
	その他	12,802	14,591	16,006	15,606	4,687	7,674
	合計②	67,868	65,710	60,632	54,835	42,378	45,806
収支(①-②)		15,866	18,326	17,904	25,234	28,362	25,390

(千円)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
大規模修繕費	-	-	-	-	-	-

※10,000千円以上の修繕費

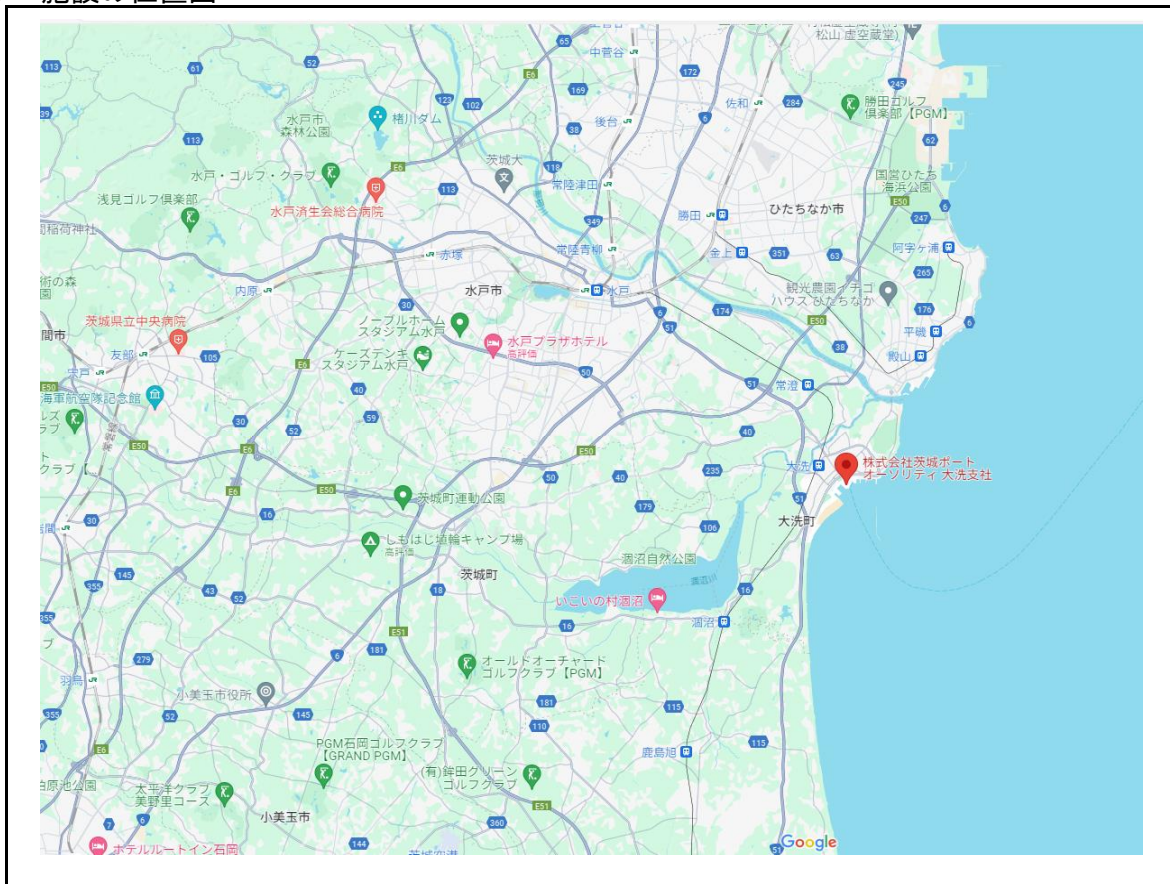
## 5 運営上の課題と対応

課題	対応
○ 大洗港区は北海道へのフェリーの玄関港であり、観光拠点としての機能強化に取り組む必要がある。	○ 当施設はこれまで、定期フェリー運航に必要なサービスを提供するため、フェリー運航会社と連携して利用者の利便性向上を図るなど、フェリー運航に欠かせない施設となっていることから、引き続き施設を存続させる必要がある。
○ 施設設置から30年経過しており、施設の老朽化や設備の経年劣化への対応が必要である。	○ 施設の管理運営に当たっては、周辺地域に代替施設が無く、他の民間事業者での運営は困難である。また、施設等の老朽化対策を適切に実施するなど、株式会社茨城ポートオーソリティが引き続き管理運営を継続していく。

※経営評価の結果等を参考に、課題を記載すること。

(参考)

## 1 施設の位置図



## 2 施設の写真



3 施設の配置図（平面図）

